

科目名	アントレプレナーシップ論	科目コード	1418	単位数	2
担当者名	堤 悦子	開講セメスター	第6セメスター	開講年次	3年次

● 授業のねらい

アントレプレナーは会社を起業する人や企業組織の中で新しい組織やビジネスを立ち上げることであり、それは戦争や革命などの変革期におこることが考察されてきました。そこでこの講義では、明治維新後の日本および第二次世界大戦の遺産というかたちで、アントレプレナーの活躍を中心にしたビジネスの世界を理解することを狙いにしました。

● 到達目標

受講者は、必ずビジネスコンテストに応募してもらいます。そこで入賞することを目標にします。受講者の説得力あるプレゼンテーションの能力を養うことが大学でアントレプレナーシップ論を講義する意義です。それは単なる発表ではないこと、キャピタリストを説得するプレゼンは、自身の潜在力の発見と将来の生きる力を養うことです。

● 授業内容

1週目 アントレプレナーシップとは何か。ビジネスプランを作成することの意義。締切や具体的な段取りに関して解説します。<必ず出席してください>

2週目 ビジネスアイデアの発表

テキスト：アジア太平洋航路形成の経緯 p. 1-18

3週目 ビジネスプランの発表

講義：明治維新とソーシャルアントレプレナー

4週目 ビジネスプランの発表と送信

講義：明治時代のソーシャルアントレプレナー

5週目 ビジネスプランの修正

講義：第二次世界大戦前後の北海道

6週目 ビジネスプランの修正

講義：第二次世界大戦後の日本 テキストp.112-113

7週目 外部評価により自身のプランの見直し

外部講師招聘：中小企業診断士またはベンチャー企業家

8週目 医療領域の企業家達

日本の医療を理解するp.113-p.120

9週目 アメリカの軍事技術の開発と中小企業の発展

テキストp.120-123

10週目 アメリカが覇権を握る医療機器領域

テキストp.122-124

11週目 第二次世界大戦の遺産

ミスリードされたベンチャービジネス テキストp.124-127

12週目 日本の企業家像

テキストp.127-131

13週目 現在の日本の現状

テキストp.131-132

14週目 企業家の輩出と北海道の企業社会

北海道における企業家輩出の阻害要因を考察する

15週目 受講者自身が誇れる「一番」についての発表 グランプリ通過者は発表を

(ソフトバンクの新入社員HP参照) 就職活動の練習もふまえています

16週目 日本企業やベンチャーとCSR

● 準備学習(予習・復習)等の内容

初回到講義の段取りを説明、初回および後半はテキストを使います。テキストは予め読んできてください。読んでこない人が多かった場合は、講義の前にミニテストを行うことにします。

● 成績評価の方法・基準

テストやプレゼンテーション、学外活動（ビジネスプラン作成とコンテスト参加）で評価します。この配分については、第一回目によく話し合い、皆で情報を共有します。2016年までは、ビジネスコンテストで入賞者を出すなどの成果を出してきました。グループワークを歓迎します。従ってプラン作りが得意な人はリーダーのプランに貢献する姿勢を評価します。

● 履修上の留意点/課題に対するフィードバックの方法

漫然と出席しても合格点ができません。ビジネス自体に興味がない人には向きません。この講座では、1回10月の土曜日に、他大学の学生とビジネスプランのアイデアを出し合うセミナーに参加することになっています。さらに起業家の話を聞き、ベンチャー企業を訪問する等、変則的な事も発生します。アルバイトを優先させる人には向きません。

● テキスト

杉田米行編『第二次世界大戦の遺産』大学教育出版

● 参考書

随時指定します

● 更新日付

2019/02/02 01:25